グローバル月間特別講演

世界の医療から、
これからのキャリアを考える

【博士課程】先天異常Ⅰ(D17)、腫瘍生物学Ⅰ(D24)、臨床腫瘍学Ⅱ(D29)、内分泌・代謝学Ⅰ(D52)
【修士課程】臨床医学概論(M7)

アメリカでの外科教育と臓器移植の最前線

― 教育・臨床・技術革新から未来を考える ―



米国での豊富な臨床・教育経験を有する講師が、自身のキャリアを交え、
米国の外科教育の特徴や育成システムを紹介します。
また、米国での成人及び小児の臓器提供の現状や、臓器不足に対する
様々な対策、技術革新について解説します。



外科教育
次世代を育てる
米国の育成システム



臓器移植
成人・小児の
現状と課題



技術革新
臓器不足への対策と
新しいアプローチ

講師

冨山 浩司 先生

ロチェスター大学医学部
(米国ニューヨーク州)
外科学講座移植外科学　准教授

日時
令和8年
11月5日(木)
17:30～18:30

会場
**島根大学医学部
臨床小講堂**

対象
医学生・大学院生
初期・後期研修医
医学教育、臓器移植に
ご興味のある皆様



主な内容(予定)

1. 米国の外科教育の特徴と育成システム
2. 成人および小児の臓器提供の現状
3. 臓器不足に対する様々な対策
4. 技術革新と今後の展望
5. ご自身のキャリアからのメッセージ

UNIVERSITY of ROCHESTER MEDICAL CENTER

